

# Together

徳島県穴吹高等学校  
 人権啓発新聞「Together」  
 2015年3月24日発行  
 ヒューマンライツ部 第4号

2014年度の「Together」もいよいよ最終号となりました。

今回はヒューマンライツ部の一年間の活動を振り返りたいと思います。

この一年間私達は校内学習だけでなく、校外での研修にも参加し、学んだことを発信してきました。それを少しでもみなさんの心に届けることが出来たでしょうか？記憶に残すことが出来たでしょうか？

人権問題は一人一人に関係のある身近な問題です。だから、これまで学んだこと、これから学んでいくことに興味を持ち、「人権」について少しずつでも考えてほしいと思います。



## ◎ 校内人権の日 (12~3月)

### 第8回 「第九のふるさと」

内容: 栃東保彦収容所の松江所長が  
 収容者たちの人権を尊重して自主的な活動を  
 認めたとことを知り、自分なら外国人にどう  
 接するかについて考える。  
 感想: 話が聞きたくてメモスキャーで伝えることが出来る。  
 お互いの文化を知り、違いを尊重して接していきたい  
 と思う。言葉が伝わらなくても、心が通じあっていればいい。

### 第9回 「一枚の絵から考えよう」

内容: 日本産のリンゴはとれた途端食べざるを拒絶するゴリラ。  
 これは原発事故による風言平被害をあらわしている。  
 感想: メディアの意見をうのみにせず、自分で知ったこと  
 を信じるようにしたい。  
 周りの意見だけで左右されない。

### 第10回 「人との関わりのなかで 自分の可能性を広げよう」

内容: 中島みゆきさんの「糸」など、詩やイラストから人との  
 関わりについて考える。  
 感想: 様々な人と「出逢うことを任命せよ=幸せと呼  
 ぶ」という歌詞に心がほろりとした。  
 人との出逢いは一期一会。

### 第11回 「本年度の校内人権の日を振り返ろう」

## ★ 人権学習ホームルーム活動 (1月) ★

### 1年 「身近な人権問題」

- 家族や仲間など、自分にとって大切な人とのような生活を過ごしたりのか? というテーマでクラス目標を作りました。最初にグループで話し合いました。たくさんの意見が出て、積極的にグループ活動ができてその後、クラスで発表してまとめました。目標は2つできて、1つは「皆で積極的に進級を目指そう」で2つ目は「お互いの良い所を認め合おう」でした。皆で決めた目標だからしっかり守りたいです!

### 2年 「アイヌ民族差別」

- 子どものころから大好きな「もののけ姫」がアイヌ文化をもとにしていることや、北海道の地名にはアイヌ語からできた地名がたくさんあること、アイヌ文化は意外と私たちの身近にあることを知りました。北海道への修学旅行でもアイヌ学習をして、アイヌの言葉や文化は存在しているもの一つ一つに興味があるのと教えてくれました。とても素敵な文化だと思いました。(しかし、アイヌの人たちは自分たちの言葉や文化を誇れない時が実際にあったと聞き、そのことも忘れてはいけなさいと思いました。

# 1年間の人権行事・活動を振り返って

## 。校内の人権行事。

5月21日 人権教育映画鑑賞会  
『青い鳥』

自分の言動に  
気をつけようと  
改めて思った

6月23日 校内同和かるた取り大会

まだ残っている  
差別を早く  
なくした

10月8日 華の丘祭(文化の部)  
「人権啓発展」

たくさんの人に  
ヒューマンライツ部の  
活動や人権について  
知ってもらおうとがんばった

11月27日 人権意見発表会

1年を通じたのりくみとして  
人権学習HR活動 年間5回  
校内人権の日 年間11回

相手の気持ちを  
考えて発言  
しなければならぬ

## 。校外の活動。

### ☆七の会☆

西部の高校で結成している「七の会」に参加しました。

3月の研修では、地域の方々と一緒に「うどん汁」を作りました。

とても細かく指導してくれて美味しいうどん汁を作ることができました。

その後は、地域の歴史を教えてもらいました。保育所を作ってもらったために母さん達が文字を学習して作ってもらえるように説得をして作られたそうです。

今では、どこにでもある保育所ですが、昔の人たちが努力してくれたから今あるのだと学びました。

### ☆美馬高校生友の会☆

協町・つるぎ・穴吹の3高校の生徒が月に1回ほど集まって各校から用意された資料をもとに人権の学習をしています。

「SNSの利用について」「隣がいの者の問題」「マラさんについて」とたくさんのお話を学びました。今では日常生活にかかせないLINEやTwitterも、使い方を誤ると人権侵害につながります。自分は冗談で言っているつもりでも相手には伝わらずケンカの原因になってしまいます。だからまず一度文章を見直して、できるだけ感情が伝わるように絵文字なども打ってみたらケンカにはならないと考えました。



### ☆中・高生による人権交流事業(西部ブロック)☆

西部ブロックでは、今年度「アンネの日記」～ホロコーストから学ぶ平和と人権～というテーマで研修を行い、その成果をまとめました。

アンネの日記は、とても16歳が書いたとは思えないほどの文章力で、読んでいる私たちに問いかけるようでした。アンネは心から平和を望み、今もなおアンネの日記を通して平和を訴えています。

## ～編集後記～

- 私は初めてヒューマンライツ部に参加しました。初めは、不安で何をしたらいいのか分かりませんでした。でも、回数を重ねていくと、どのようにしたら見やすいのか？読みやすくなるのか？と考えながらできるようになり、『Together』を作るのが楽しくなりました。来年度もがんばって作っていきたいです！
- ヒューマンライツ部に入、たのはつい最近で、活動もあまりできませんでした。部員が少なからずと勧誘された時は、うれしかったです。Together作りや行事にも参加できてとても良かったです。2年生になっても頑張っていきたいです。
- 人権学習は中学から続けていて、西部の会にも参加していましたが、高校での活動は中学のときよりも内容が濃く、色々な人との出会いもあり、とても楽しかったです。また、『Together』のような新聞を作るというのも初めてでしたが、色々なことを発信していくのも面白かったです。来年度も続けていきたいです。

